

2010年11月30日

報道機関 各社 御中 (送信枚数は、本状を含め2枚)

## 第28回日本医学会総会学術展示に関わる見解の発表について

### 「戦争と医の倫理」の検証を進める会

当会は、「日本の医学者・医師等がかつての戦争中に731部隊等で行った「人体実験」などの非人道的行為を、医学界が史実にそって検証し、その教訓を明らかにすること。及び、そのことを通じて、人間の尊厳や人権を基本とするこれからの医学・医療の発展に寄与することを目的」として活動している団体です。昨年9月27日(日)、東京大学での当会設立大会では、各報道機関の皆様にもご案内し、大会の報道やその後の活動等をご紹介いただきありがとうございます。

私たちは、設立大会以降の主な活動として、来年4月に東京で開催される第28回日本医学会総会の企画として具体化されますよう、第28回日本医学会総会に要請等を行ってまいりました。しかし、現段階では、医学会総会の企画にまではいたっていません。このため、当会として、第28回日本医学会総会の学術展示に「出展申込」を行いました。が、却下されました。

このことに関し、11月28日(日)開催の当会世話人会で、「学術展示『出展申込』却下に対する抗議と私たちの見解」を確認し、第28回日本医学会総会宛送付すると共に、報道機関各社にも公表することといたしました。皆様の取材や報道をよろしくお願い申し上げます。

なお、当会では、上記の活動と平行して、独自に「戦争と医の倫理」に関する検証作業を進めており、来年4月2日(土)～10日(日)の日本医学会総会の開催期間に合わせて、検証資料の公開展示や医学教育に関するアンケート結果の公表、及び、4月9日(日)には、東京大学で聖路加国際病院理事長・日野原重明氏の特別講演と、ドイツからTill Bastian氏(医師、作家、平和活動家、郡会議員。著書「恐ろしい医師たち—ナチ時代の医師の犯罪」など)を招いての国際シンポジウム(テーマ「戦争と医の倫理」—ドイツと日本の検証史の比較)を予定しています。

以上の企画は、後日あらためてご案内させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

### 記

<添付資料> 「学術展示『出展申込』却下に対する抗議と私たちの見解」

#### 【問い合わせ先】

#### 「戦争と医の倫理」の検証を進める会

(事務局) 〒151-0053 渋谷区代々木2-5-5(新宿農協会館6階)

全国保険医団体連合会内(担当者:室井正/小林耕治)

TEL. 03-3375-5121

FAX. 03-3375-1862

e-mail / [tadashi-mri@doc-net.or.jp](mailto:tadashi-mri@doc-net.or.jp)

URL <http://AVIC.doc-net.or.jp>